記事
Megumi Kakechi · 2021年2月15日 4m read

# ルーチン・クラスメソッド内の特定処理でデータベースの特権を変更する方法

**これは InterSystems FAQ サイトの記事です。**

「特権ルーチンアプリケーション」を使用し、コード中に
$system.Security.AddRoles()メソッドを使用してロールを付与する仕組みを利用します。

※ロールベースで必要な特権を付与するため、予め特定の特権を持ったロールを作成する必要があります。

詳細は、以下ドキュメントをご参照ください。
特権ルーチン・アプリケーション【IRIS】
特権ルーチン・アプリケーションについて

例えば、特定ルーチン(またはクラスメソッド)実行時のみデータベースの更新を許可するための設定は、以下のとおりです。

（接続するデータベースに対してはREAD許可だけを持ち、あるルーチン実行時のみデータベースに対するREAD／WRITE許可を持つように設定します。）

### 1) データベース：Aのリソース定義を確認する

データベース：Aのリソースに %DB%DEFAULT が設定されている場合は、独自リソースを作成します。

（データベースに割り当てられたリソースの確認は、管理ポータル > [システム管理] > [構成] > [システム構成] > [ローカルデータベース] > リソース で確認できます）

リソース作成は、管理ポータル > [システム管理] > [セキュリティ] > [リソース] > 新規リソース作成ボタン押下
データベースリソースは命名規則があり、 %DBデータベース名 を指定します。

例の場合は、 %DBA を登録します。このとき、パブリック許可は全てチェックを外します。

リソース作成が完了したら、管理ポータル > [システム管理] > [構成] > [システム構成] > [ローカルデータベース] から設定対象のデータベース設定を開き、リソース名を変更し、保存します。

### 2) READ許可のみを付与するロールを作成する

管理ポータル > [システム管理] > [セキュリティ] > [ロール] > 新規ロール作成ボタン押下

ロール名を記入し、保存します。（ロール名を R1 とします。）

作成したロールに特権（リソースに対する許可の組み合わせ）を登録するため、追加ボタンを押下し、利用可能なリソース一覧から、1)で確認したリソース名を選択します。

選択後、リソースの許可をRのみに変更し、ロールを保存します。

### 3) アクセスするユーザのログインロールを確認する。

例では、ターミナルでのルーチン(またはクラスメソッド)実行で確認を行うため、ターミナルログイン時にユーザ認証を行うよう、適切なサービス（Windowsなら%ServiceConsole）の認証方法に「パスワード」を追加します。

任意ユーザに対して、%Developerロールと 2) で作成したロールを付与します。

### 4) 特権ルーチンアプリケーションの作成

実行時にREAD／WRITE許可を追加するための「特権ルーチンアプリケーション」を作成します。

管理ポータル > [システム管理] > [セキュリティ] > [アプリケーション] > [特権ルーチンアプリケーション] > 作成用ボタン押下

特権ルーチンアプリケーション名を指定し保存します。（特権ルーチンアプリケーション名を TR1 とします。）

ルーチンタブを開き、ルーチン(またはクラスメソッド)があるデータベースの指定と、名前の指定を行います。

続いて、アプリケーション・ロールタブを開き、データベース：A のDBロール（%DBAロール）を付与します。

※ DBロールはDBリソース作成時、自動的に作成されるロールで、DBリソースに対するREAD／WRITE許可を持つロールです。

### 5) コード内でロールを付与する。

4）で作成した特権ルーチン名を使用して、以下メソッドを追記します。

【実行例】

```
set st $system.Security.AddRoles("TR1")
st() public {
try {
  new $roles
  write "現在の値：",^ABC,!
  write $roles,!
  set ^ABC="変更"
  write st $system.Security.AddRoles("TR1") // ロールの追加
  set "現在の値（更新後）：",^ABC,!
} catch ex {
  zwrite ex
}
}
```

《ターミナル実行例》

```
A>set ^ABC="かきくけこ"   // ログイン時、READ許可のみのためエラー発生
SET ^ABC="かきくけこ"
^
^ABC,c:\intersystems\cache\mgr\a\
A>write ^ABC
テスト
A>do st^Test()  // ルーチン実行期間のみ更新可
現在の値：テスト
%Developer,%DBA,R1
```

現在の値（更新後）：変更

#システム管理 #ヒントとコツ #Caché #Ensemble #InterSystems IRIS #InterSystems IRIS for Health

---

**ソースURL:**
https://jp.community.intersystems.com/post/%E3%83%AB%E3%83%BC%E3%83%81%E3%83%B3%E3%83%BB%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%82%B9%E3%83%A1%E3%82%BD%E3%83%83%E3%83%89%E5%86%85%E3%81%AE%E7%89%B9%E5%AE%9A%E5%87%A6%E7%90%86%E3%81%A7%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%99%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%81%AE%E7%89%B9%E6%A8%A9%E3%82%92%E5%A4%89%E6%9B%B4%E3%81%99%E3%82%8B%E6%96%B9%E6%B3%95